

報 告 書

(西 川 班)

開 催 日 時	令和元年 5 月 13 日 (月) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	浜田公民館	
出 席 議 員	田畑 敬二 副議長、澁谷 幹雄、西田 清久、岡本 正友、 飛野 弘二、西川 真午	
	司会者	西川 真午
	予算報告者	岡本 正友
	ファシリテーター	澁谷 幹雄
	記録者	飛野 弘二、西川 真午
参 加 人 数	16 人	
主な要望・提言等	<p>テーマ 1 (独居世帯へのケアと高齢者の居場所づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンリーダーの担い手不足で、サロンの維持、増設が困難 ・市街地では住民の人間関係が希薄であり、その中で独居の方の見守りや認知症の方のケアをどう行うかが問題。 ・人とのつながりが持てるまちになって欲しい。 ・公園など人が集う場所が少ない。 ・サロンの構成メンバーの高齢化が進み、次世代の参加者が少ない。 ・公民館活動、趣味の会、サロン等、居場所づくりは多数あるが、そこに参加しようとする意志がない人を誘い出すことが困難であることが問題。 ・町内でサロンの居場所づくりの機運が高まってきた。 ・個人情報懸念を優先するため、地域のつながりを阻害している。 ・あちこちにサロンを開設すべきだ。 ・高齢者が保育園などで子どもとふれあえる場所をつくる。 ・男性の参加のためには、スポーツ、頭を使うこと、お酒がポイント。 ・サロンは高齢者だけでなく、世代間交流ができる場所にする。 ・こども食堂で地域みんなで一緒に食べるように。 ・サロンを開設するために、リーダーの育成と不足している経費の助成をしてほしい。 ・独居の方への食配を考えたらと思う。 ・福祉委員と行政連絡員の存在があるのにうまく機能していない。 ・ふれあい地域サロンについての情報を知りたい。 	

<p>主な要望・提言等</p>	<p>テーマ2（認知症の方々のケアとその予防）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症スクリーニングは、島大が作成したシステムが無料でダウンロードでき、iPadがあればMMSEと同様の精度で実施が可能である。 ・先進的な取組として、名古屋市ではサポーター養成講座のテキストを独自で作成している。 ・群馬県は大学と協同で、認知症サポーターステップアップ研修教材を作っている。 ・金沢市では若年性認知症と家族の会を設置し対策に取り組んでいる。 ・認知症本人会議。 ・まちの保健室のように気軽に相談できる場所があるとよい。 ・地域ぐるみでケアを増やしていくとともに、みんなで学習することも必要。 ・認知症サポーター養成講座のフォローアップ講座をしていないのはなぜか。
	<p>テーマ3（お魚センターのリニューアルと港のにぎわいづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧魚市場（漁業組合の下）を活用してお魚センターにすれば、市民も買いに来るのでは。 ・良いものを安く提供できる仕組みを考えて欲しい。 ・すばらしい海の幸を「ふるさと郷育」につなげ、今後とも浜田が好きで住み続けるようにして欲しい。 ・浜田らしさを出しながら、感じのいい接客ができるように社員教育をして欲しい。 ・若者や都会の人にも受ける、おしゃれでセンスのいい施設にして欲しい。 ・観光施設として、巻網船団の水揚げ見学、温泉施設、水族館、外ノ浦観光を検討して欲しい。 ・その場で気軽に食べられる魚料理（魚を使った揚げたてコロケ）や握り寿司を提供して欲しい。

主な要望・提言等	<p>【その他要望・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none">・盆踊り口説きを子どもたちに教えているが、行政も加わり交流の仕組みを作りたい。また、盆踊りは町内会単位で行っているが、他の町内も併せて出来ないか検討して欲しい。・若い人の意見を聴く仕組みが必要。
----------	--

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年 5 月 22 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

西川 班

代表者 西川 真午